

時事新報  
御結婚二十五年の  
御祝儀

昨日の官報欄内に記載したるが如く今度天皇皇后兩陛下御結婚滿二十五年の御祝儀と譽せらるべと旨仰出され来る三月九日を以て其式を行はせらるゝよし伏して雄ふに立后の大典以來兩陛下の御祝儀は久しく變らせず去る明治二十二年には立太子の御事あり今又十五年、五十年、六十年の七回にして各との名を異に喜に堪へざる所なり故その式とは如何なる御式なるやと云ふに我國の習慣に於て結婚何年の祝儀とは曾て聞されども通例著しきものは二十五年の銀婚式と五十年の金婚式とにして式を舉ぐる折には知己朋友の人々より贈物を爲すの例にして其贈物は例へば銀婚式には銀色によそへたる花環の頬、又金婚式には同じく金色に見立たる品物を贈るなど一般の習慣なれども富豪大家に至りては儀式も亦盛にして自から種々の趣向ある其祝する等との有様は國中の大祭を見るに異ならずと云ふ即ち今度の滿二十五年の御祝儀は取りも直さず右の銀婚式とも申し奉る可きものにして殊に我國にては見立たる品物を贈るなど一般の習慣なれども富豪大家等の舉あるも固る可らず斯る目出度き折に際して吾々臣民たるものは如何にして祝意を表し奉る可きや從來に例なき儀式なれば祝意を表するの趣向も亦自から新ならざるを得ざるも我國に於ては高貴紳士の人のを贈るを率るを先づ適當の趣向なる可きか或は又一個人にが如き從來の習慣に無きみとなれば取り敢へず府縣市町村又は學校協會の如き團體より總代の名を以て祝意を奉るを率るを先づ適當の趣向なる可きか或は又一個人には特に御受納わらせらるゝみとならんか兎に角に我國に成りたる禮物攝取の類を進献するが如き從來も其例除くの外は帝室に對し奉りて直接に品物を獻上するが如き從來の習慣に無きみとなれば取り敢へず府縣市町村又は學校協會の如き團體より總代の名を以て祝意を奉るを率るを先づ適當の趣向なる可きか或は又一個人には特に御受納わらせらるゝみとならんか兎に角に我國に成す一般の臣民と共に目出度き此御儀式を祝し奉り更に今後の二十五年を迎へ重ねて再度の盛式を祝し奉らんふとを敢て期するものなり

香港と云ひ新嘉坡と云ひ日本製產品販賣の權は一に外人の爲めに占有せられ殊に支那人が本邦貿易上に一大勢力あるは余の喫々を待たずして讀者の知る處なり獨り孟買の他地方に比して支那人の少なき所以は孟買政權が移住の支那人に對し一定の人頭稅を課するが故に流石の支那人も之に辟易して渡航せざるに因るなり左れば今後と雖も同國人の此地に入るものは少なかるべく從て日本の製產品が彼等の手によりて左右せらるゝが如さ事はなかるべし尤も前記の如く目下多少此憂なしど雖も之と我邦人の手に恢復するは易々たるものにして彼の香港、新嘉坡の如く其根庭より抜去るが如き困難なかるべし殊に毎々報道する如く銀貨下落の關係は本邦商品の輸出に取りて非常の利益あるのみならず孟買航路の開始は運賃の低廉と貨物の安全を來たし其便我實業上に與ふる便利は決して僅少にわらず嗚呼孟買貿易擴張の時機今日を擇て將た何の時を俟たんや

云ひ新嘉坡と云ひ  
貿易着手の  
買主はさるときは何  
も拘はらず日本商  
本邦製產品に關  
復するは容易の  
念の至りなり只  
らさるかの如き機  
はさるとときは何  
んや

孟買は自由開港なれども輸入品中鹽、酒、烟草の三種并に輸出品中亞片のみに限り特に課税し尙ほ刀劍其他戰鬪に關する器類は一切稅關の爲めに沒收せらるゝと云ふ要するに英國政府が印度の獨立若くは他國の侵害を恐れ事を未然に防がんとするに他ならず且又輸入品は何物に限らず總て皆其製造國名を明記し悉くに商標個數等を以てし反物類の如きは長巾などを詳記するにあらすんば稅關の官吏は其陸揚を拒む事あり日本製造品中往々にして MADE IN TOKIO 若くは KOBE, YOKOHAMAなどを記入し JAPAN と云へる文字を漏するどより是等も能く注意し一埠 MADE IN JAPAN と明記するにあらずんば飛んでもなき迷惑を被るみどあるべし聞く當地に於ける支那人中日本雜貨を販賣するものは其貨物を一旦支那市場に陸揚し商標を變じ且つ支那にて製造したるかの如く偽舊し然る後之を孟買に輸出するが故に當市民の日本雜貨を知るもの少なく是等は總て皆支那にて製造さるゝものと思へり市民の余等をして支那人と誤認するもの亦故あるなり

りて昨日より本日へ掛けて大

るの事なれども其實人をして爲めに往々渡航の念を消し去るの一原因となるものなり之に反し今や我日本郵船會社の汽船が此間を航通し親切と確實を以て乗客に接すれば渡航者に取りては其便利言はん方なく永の航海も船員の厚遇にまぎれて左程の苦なく五千哩の旅行は恰も比隣に赴くが如き思ひあり然るを尙ほ身其地に入らずして只書信の往復、他人の勘告位に依頼し以て孟買貿易に從事せんとするも到底充分の利益を占め得られざるのみならず貿易の商機は依然として他邦人の爲めに掌握せらるべし海外商業の實況は座しながら知り得べきものにあらず余は飽くまで本邦有志商人の渡航を勧告するものなり

○ 地方官の歸任 今回召集されたる地方官中土木費の國庫補助(昨年の水害に因て生ぜし)を要する數縣の知事は用向未だ畢らずして浦東し居れども其他府縣の知事中には一昨日既に歸任の途に上りしものさへあ

(以下次號)

麻の好況

如し	木質	千賀 二十貫目に付	大一石五匁付 中一石五匁付 小一石五匁付
		二百四十三貫目付	
水邑	水邑 上	一本に付	
水邑	水邑 次	切毬 百指に付	
		二二見手筋	
		二三見手筋	
草谷	草谷得道		
富久高	富久高		
源吉高	源吉高	一箇化付	
吉野高	吉野高		
益永淳	益永淳		
下總片栗	下總片栗	三十貫目 一取に付	
武州片栗	武州片栗		
上州片栗	上州片栗		
百指に付 (大中小込)	百指に付 (大中小込)		
道根	道根		

かくし言葉

當日ソヽリを催  
居れるやに聞く  
日野園の梅

爲めに織り出し至つて少なく此の先とても洋絲は爲換相場の下落なれば益す騰貴の勢なれば隨て織元は不引合なれば出品必ず減少するべければ目先昇進の模様なりされとも時は薦勧期の前なれば金銭逼迫の點より機業家の中にて投棄等も有りたる爲めに相場は幾分安氣配なり中にも三河木綿は舊暮より大丸七八分方の下落なり八王子物は舊十一月中頃より一時下落の傾きなりしも昨今幾分氣配を引戻せり桐生物は漸々下落し來りて大凡五六分より一割方の下落を呈せり其他木綿物は平均五六分より品によりては一割方の安氣配本場青島は舊暮より五六分方の下落を示し所澤一本糸正樂寺上等物一圓十二錢より一圓十五六錢中等物九十錢より一圓位にて安物込六十三四錢より七十錢位の成行にして尾州白木綿は一反三十錢位なりしも昨今五厘方の不味にして總て沈静の模様あり

○鮨鰯貢 鮨は昨今入船至つて少なく先福中十貫目三四回五十錢位の處なりしが四回五十錢に騰貴し數の子田作は他品の沈静にも似ず好氣配にして其の相場一回に付致の子は二貫五六百匁出船は上一貫五百目次物二貫目なり千鰯は目下入船至つて多く益す下落の傾なり

○乾物類商況 初荷後差したる變りなき人氣ながら何分市中の先行は至て不擇の様子にて常用必需品の外は頗る手出しあらされざればとて一二品の外は總て風氣記して歩かしらざる取引莫落なり相場又左の

二  
契  
月  
な  
り  
于

爲めに織り出し至つて少なく此の先とても洋絲は爲換相場の下落なれば益す騰貴の勢なれば隨て織元は不引合なれば出品必ず減少するべければ目先昇進の模様なりされども時は舊勘期の前なれば金穂逼迫の點より機業家の中にて投賣等も有りたる爲めに相場は幾分安氣配なり中にも三河木綿は舊暮より大丸七八分方の下落なり八王子物は舊十一月中頃より一時下落の傾きなりしも昨今幾分氣配を引戻せり桐生物は漸々下落し來りて大凡五六分より一割方の下落を呈せり其他木綿物は平均五六分より品によりては一割方の安氣配本塙青鳴尾州白木綿は一反三十錢位なりしも昨今五匁方の不味にして總て沈静の模様あり

○鮪鰐貢 鮪は昨今入船至つて少なく先程中十貫目三四五十五錢位の處なりしが四圓五十錢に騰貴し數の子田作は他品の沈静にも似ず好氣配にして其の相場一面に付數の子は二貫五六百匁田作は上一貫五百目次物

○吉野園の梅  
栽培を以て大に世間  
るべきもの少なから  
て縦覽に供すといふ

木質	一石に付 十日目に付
千葉	二百四十二日目に付
大隅	水戸上
種地	水戸次
佐賀	一本に付
福岡	切戸 百箱に付
宮崎	合二見半箱
鹿児島	全箱付
高知	吉野筒
愛媛	源助
徳島	源助
香川	吉野筒
岡山	源助
広島	源助
山口	源助
鳥取	源助
島根	源助
下関	源助
福岡	源助
熊本	源助
大分	源助
宮崎	源助
鹿児島	源助
沖縄	源助
○麻の好況	一
とくに昨年は相 高直を唱へ居り舊 合なりしが先頃に 等にて下物一駁四 需用を來し且つ昨 け寒穠一體に有り 高直ならでは賣買 主連も爲めに高氣 千畳内外にして相 二十二日に於ては	一
○ソヽリの計	一